

登山関連週間ニュース（2026年4月8日～4月14日）

登山者の皆様へ

2026年4月8日から4月14日までの期間に発表された登山関連ニュースの中から、登山活動に影響を及ぼす可能性のある情報を重要度の高い順にまとめました。特に、入山規制や危険箇所に関する情報は最優先でご確認ください。

登山関連ニュースサマリー

重要度	項目	内容・影響
最優先	山岳遭難	富士山（閉山中）：4月8日～9日にかけて、30代の日本人男性が滑落し、心肺停止状態で発見されました。閉山中の富士山は非常に危険であり、安易な入山は重大な事故につながります。
最優先	入山規制・火口周辺規制	桜島：噴火警戒レベル3（入山規制）が継続しており、火口周辺への立ち入りは厳しく制限されています。
最優先	入山規制・火口周辺規制	西之島、硫黄島：それぞれ「入山危険」「火口周辺危険」が継続中です。これらの地域への接近は非常に危険です。
最優先	登山道規制	知床・羅臼岳：2025年のヒグマ事故の影響により登山道閉鎖が継続しており、再開は2026年内の見込みです。ヒグマの活動が活発化する時期であり、閉鎖基準の厳格化も議論されています。
最優先	気象（雪崩）	雪崩注意報：4月14日～15日時点でも北海道、東北、北陸などで「なだれ注意報」が継続して発表されています。春の融雪期は全層雪崩のリスクが高まるため、厳重な警戒が必要です。

重 要 度	項目	内容・影響
高 優 先 度	火口周辺 規制	草津白根山（白根山（湯釜付近））、浅間山、雌阿寒岳、岩手山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島、薩摩硫黄島：いずれも噴火警戒レベル2（火口周辺規制）が継続中です。火口周辺への立ち入りは規制されており、火山活動に注意が必要です。
高 優 先 度	クマ出没 注意報	青森県：4月1日から県内全域に「ツキノワグマ出没注意報」が発表されています。冬眠明けのクマの活動が活発化しており、登山時はクマ対策を徹底してください。
高 優 先 度	クマ出没	北アルプス地域：6月（過去データに基づく傾向）にクマの移動が活発化するとの注意喚起があります。4月時点でも冬眠明けのクマへの警戒が必要です。
中 優 先 度	山岳遭難 （救助）	火打山：4月13日、遭難していた40代男性が登山口付近で無事保護されました。命に別状はありませんでした。
中 優 先 度	登山道規 制解除	函館山登山道：4月13日、冬季通行止めが解除され、春の観光・登山シーズンが始まりました。
中 優 先 度	気象（乾 燥）	各地で乾燥注意報が発表されており、山火事の高まっています。火の取り扱いには十分注意してください。
低 優 先 度	山岳遭難 （捜索 中）	京都府南丹市：3月から行方不明となっていた小学5年生の男児について、4月7日に自宅近くの山中で大規模捜索が実施されました。

重要度	項目	内容・影響
低優先度	山開き情報	尾瀬：2026年シーズンの山開き日程が公開されました（帝釈山：6/7、田代山：6/14など）。

登山者へのアドバイス

- 最新情報の確認を徹底する:** 出発前には必ず、気象庁の火山情報、各自治体や登山道の公式サイト、現地の気象情報など、信頼できる情報源から最新の情報を入手してください。
- 入山規制・登山道規制を厳守する:** 噴火警戒レベルや登山道規制が発表されている地域には、いかなる理由があっても立ち入らないでください。特に閉山中の富士山への入山は、命に関わる重大な危険を伴います。
- クマ対策を万全にする:** クマの活動が活発化する時期です。鈴やラジオなどで音を出し、食料の管理を徹底し、単独行動を避けるなど、十分なクマ対策を行ってください。万が一遭遇した際の対処法も確認しておきましょう。
- 体調管理と無理のない計画:** 登山中の体調不良は重大な事故につながります。自身の体力や経験に見合った無理のない計画を立て、体調が優れない場合は勇気を持って中止する判断も重要です。
- 雪崩への警戒を怠らない:** 残雪期は雪崩のリスクが非常に高まります。雪崩の兆候（亀裂、雪のひび割れ、雪崩の音など）に注意し、危険な斜面には絶対に近づかないでください。ビーコン、プローブ、ショベルなどの雪崩対策装備の携行と、その使用方法の習熟も必須です。
- 火の取り扱いに注意する:** 乾燥注意報が発表されている地域では、たき火や喫煙など、火の取り扱いに細心の注意を払い、山火事の発生を防ぎましょう。
- 登山計画書の提出:** 万が一の事故に備え、必ず登山計画書を提出しましょう。家族や友人にも行き先と帰宅予定を伝え、緊急連絡先を共有しておくことが大切です。